



先進加工

3Dプリンティング技術×ポリエチレンによる 循環型梱包材ソリューション

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

マテリアル
リサイクル

ケミカル
リサイクル

用途

オーダーメイド梱包材 (ex. 展示品、美術品)

課題

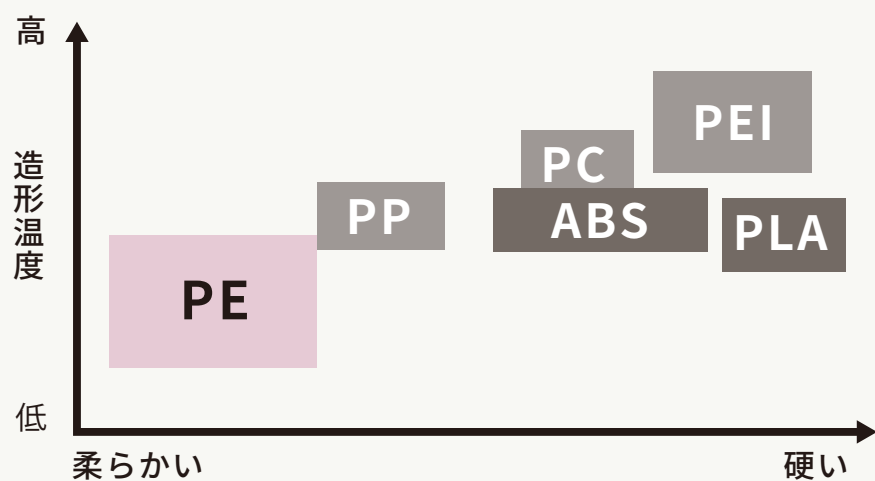
展示品や美術品の輸送では、製品を守るために多くの梱包材が使用されている

- 専用の梱包材がなく、輸送中の振動・衝撃による破損リスクがある
- 複雑形状の作品固定が難しい

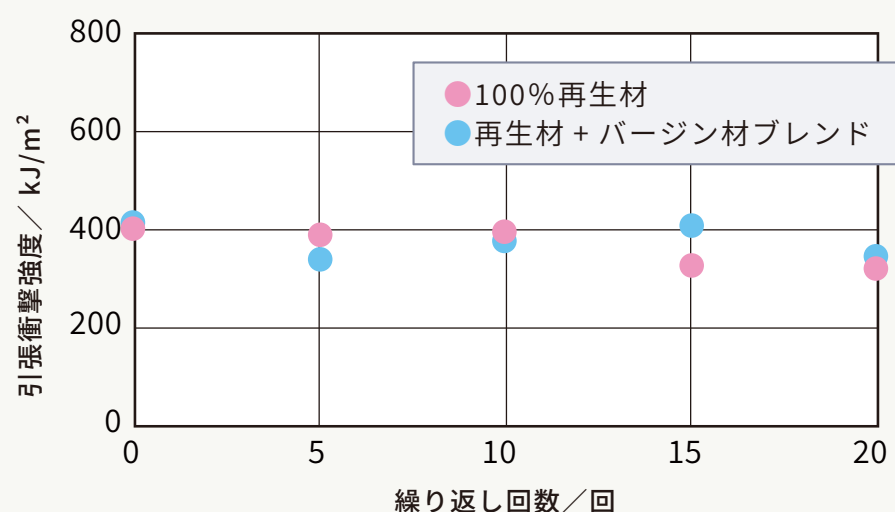
- 作品ごとに緩衝材を調整する必要があり、再梱包時の品質にばらつきが出る
- 輸送後に梱包材が廃棄される

ソリューション 柔軟な PE が実現する、製品形状にフィットする 3DP 梱包材

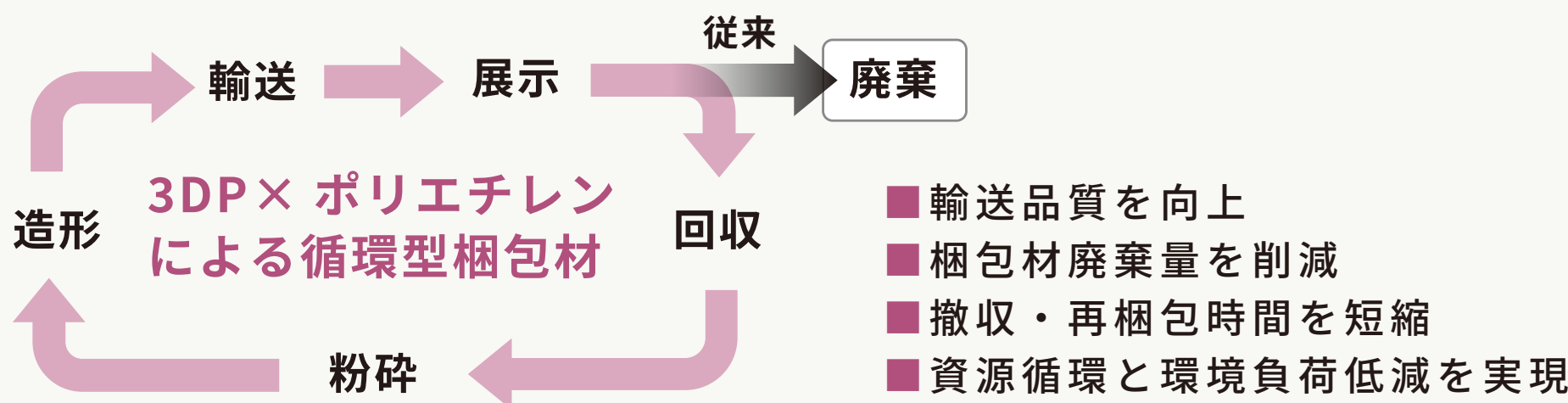
- 柔軟性を活かした高い緩衝性能



- 繰り返し使用しても物性の低下が少ない



ベネフィット 造形→輸送→展示→回収→再利用を実現する循環型梱包材



お問い合わせ |  日本ポリエチレン株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で使用される製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。